



住宅の種類

持ち家世帯の比率は、全国平均を上回る



2018(H30)年の奈良県の持ち家世帯の比率は、74.1%で全国平均を大きく上回っています。

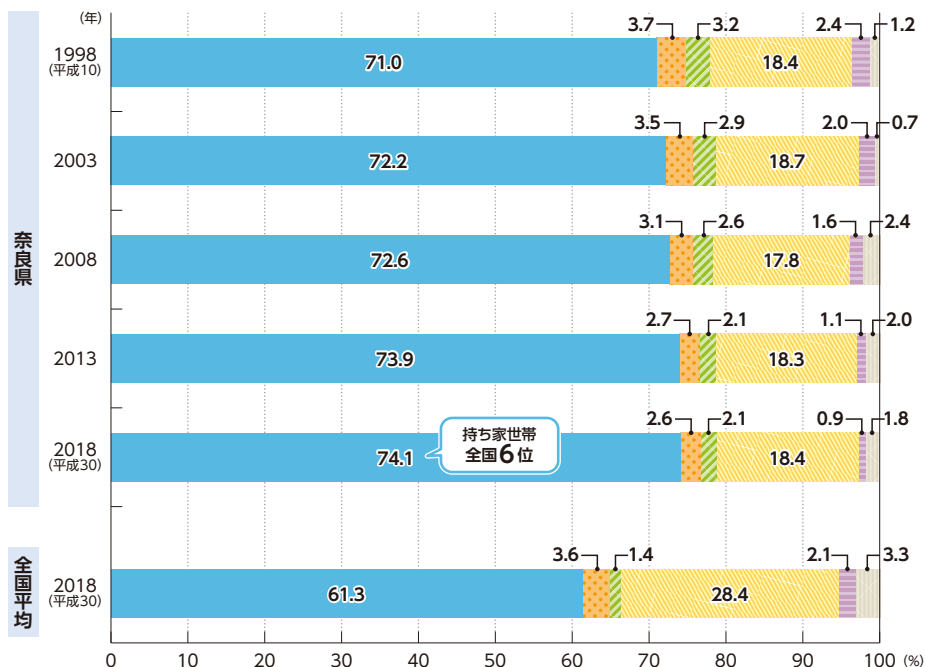
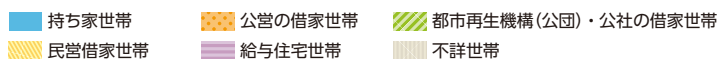
奈良県の総世帯数53万1,800世帯のうち、持ち家が39万4,300世帯と最も多く、総世帯数に占める割合は74.1%となり、次いで民営借家9万7,900世帯(18.4%)、公営の借家1万4,000世帯(2.6%)、都市再生機構・公社の借家1万1,200世帯(2.1%)、給与住宅4,700世帯(0.9%)となっています。

持ち家世帯の比率は、2013(H25)年の73.9%(全国8位)から2018(H30)年の74.1%(全国6位)へ0.2ポイント増加しています。また2018(H30)年は、全国平均の61.3%に比べ12.8ポイント上回っています。

●給与住宅…社宅、公務員住宅のように会社、団体、官公庁などが所有又は管理して、その職員を職務の都合上又は給与の一部として居住させている住宅。

住宅の種類別の割合の推移

資料：総務省統計局「住宅・土地統計調査」





1住宅当たり居住室数

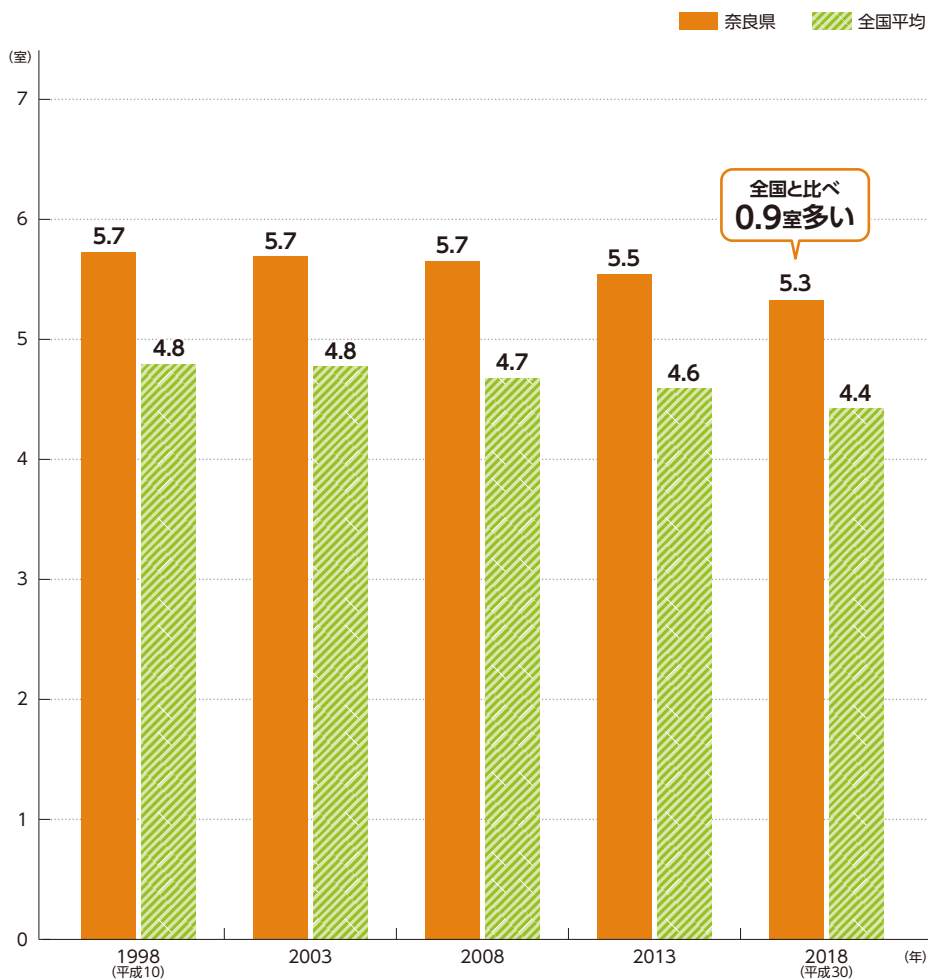
1住宅当たり居住数は全国と比べ、0.9室多い



2018(H30)年の奈良県の1住宅当たり居住室数は5.3室で、2013(H25)年の5.5室より減少していますが、全国平均の4.4室より0.9室多くなっています。

1住宅当たり居住室数の推移

資料：総務省統計局「住宅・土地統計調査」





1住宅当たり延べ面積(持ち家/借家)

持ち家及び借家の1住宅当たり延べ面積は全国と比べ広い

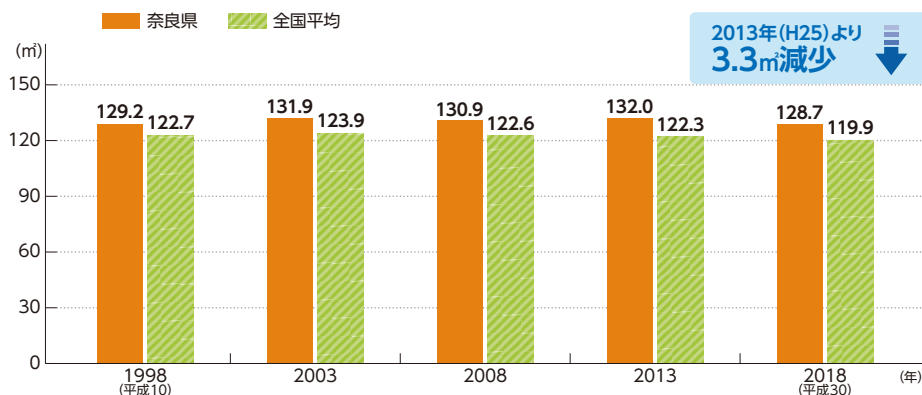


2018(H30)年の奈良県の1住宅当たり延べ面積(持ち家)は128.7㎡で、2013(H25)年の132.0㎡から3.3㎡縮小していますが、全国平均の119.9㎡より8.8㎡広くなっています。

2018(H30)年の奈良県の1住宅当たり延べ面積(借家)は56.0㎡で、2013(H25)年の53.4㎡から2.6㎡拡大しており、全国平均の46.8㎡より9.2㎡広くなっています。

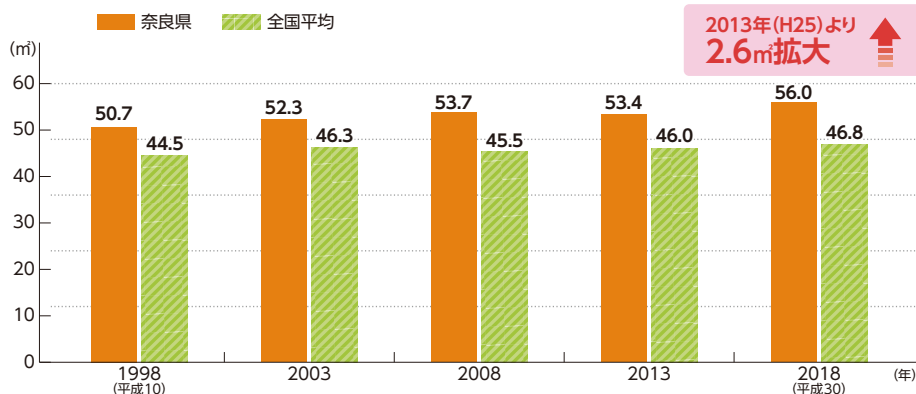
1住宅当たり延べ面積(持ち家)の推移

資料：総務省統計局「住宅・土地統計調査」



1住宅当たり延べ面積(借家)の推移

資料：総務省統計局「住宅・土地統計調査」





着工新設住宅数

着工新設住宅数は前年より増加

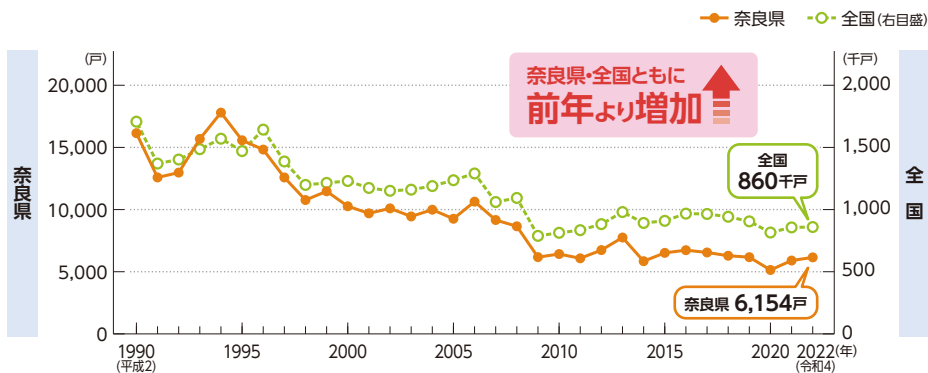


2022(R4)年の新設住宅の着工数は、2021(R3)年に比べ全国で約3,000戸増加し、奈良県においても254戸の増加となっています。また、奈良県の新設住宅木造率は68.8%で、全国平均55.6%に対して13.2ポイント上回っています。

- **新設**…住宅の新築(旧敷地以外の敷地への移転を含む)、増築又は改築によって住宅の戸が新たに造られる工事をいう。(届出義務のない床面積10㎡以下の建築物は除く。)
- **新設木造率**…木造住宅(戸数)が新設住宅(戸数)に占める割合。

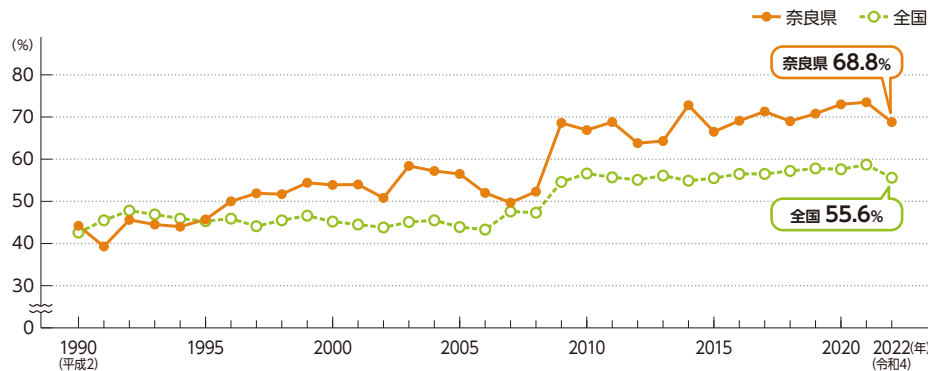
着工新設住宅数の推移

資料：国土交通省「建築着工統計調査」



着工新設住宅数における木造率の推移

資料：国土交通省「建築着工統計調査」





空き家数

空き家数・空き家率ともに増加



2018(H30)年の奈良県における空き家数は8.7万戸と2013(H25)年と比べ2,700戸増加し、空き家率は2013(H25)年の13.7%より0.4ポイント増加し、14.1%となりました。

全国の空き家総数は、2018(H30)年に848.9万戸と2013(H25)年に比べ29.3万戸増加し、空き家率(総住宅数に占める空き家の割合)は13.6%と0.1ポイント増加しました。

なお、奈良県の空き家率は全国平均の空き家率と比べ0.5ポイント上回っています。

● **空き家数**…ふだん人が居住していない住居のうち、二次的住宅(別荘など)、賃貸用の住宅、売却用の住宅及びその他の住宅(取り壊し予定の住宅など)をいう。

空き家数・空き家率の推移

資料：総務省統計局「住宅・土地統計調査」

■ 空き家数(奈良県) ■ 空き家数(全国) ● 空き家率(奈良県)(右目盛) ○ 空き家率(全国)(右目盛)

